

70 マダラウミスズメ (チドリ目)

Brachyramphus perdix

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク: DD

種の概要

オホーツク海、カムチャツカ、サハリン、北海道などの沿岸で繁殖し、繁殖後は主にオホーツク海の南部から日本周辺(北海道南部から本州周辺)の海域に渡り、越冬する。海上に生息するが、繁殖地は山地の深い原生林内とされる。小魚類を主食とする。



写真提供: 尾崎雄二

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、見島、四国、九州、伊豆諸島、奄美大島、沖縄諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、西宮市、加古川市、高砂市、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に1-3月に記録がある。1950-1965年頃には東播磨地域の沖合いで2-3羽の群れが定期的に記録されていたが、その後、しばらく生息が確認されなくなった。2000年に西宮市沖で記録されているが、現在は観察記録はなく、生息状況は全くわかっていない。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。